

こんなにも面白い、東京藝大の映像授業！

おもしろ

とうきょうげいだい

えいぞうじゅぎょう



とうきょうげいじゅつだい がく だい がく いん えい ぞう けんきゅう か
東京藝術大学大学院映像研究科による

藝大 Geidai スクール School シアター Theater

入場無料

会場：東京藝術大学 横浜キャンパス

馬車道校舎3F 大視聴覚室（横浜市中区本町4-44）

主催：東京藝術大学大学院映像研究科

横浜市文化観光局



Photo: Takuji Okada

たのしく、わかりやすく、
2020年2月・3月 横浜にて開催。

第1回 映画の撮影とは ～プロの撮影監督に学ぶ～

講師 田中一成 たなか かずしげ
2020年2月29日【土】14:30-16:30
対象：中学生 ※申込方法は裏面をご覧ください。

第2回 世界のショート アニメーションと出会う

講師 伊藤有壺 いとう ゆういち
対象：小学生（指定小学校）
※一般受付は行っておりません。

第3回 「理」があって面白い 映像シアター

講師 佐藤雅彦 さとう まさひこ
2020年3月22日【日】14:00-16:00
対象：高校生 ※申込方法は裏面をご覧ください。



とうきょうげいじゅつだいがく だい がく いん えい ぞう けんきゅう か
東京藝術大学大学院映像研究科による

藝大スクール・シアター

横浜に拠点を置く東京藝術大学大学院映像研究科が、小学生、中学生、高校生らを対象とした映像教育のプログラム「藝大スクール・シアター」を開催します。
映画、メディアアート、アニメーションの分野の教授陣が、映像の楽しさをお伝えします。

企画責任者：東京藝術大学大学院映像研究科長・教授 桐山孝司

第1回 2020年2月29日[土] 14:30-16:30

映画の撮影とは ～プロの撮影監督に学ぶ～

講師 田中一成 たなか かずしげ
東京藝術大学大学院映像研究科映画専攻教授



プロの現場では、映画はどのように作られているのだろう。宮藤官九郎監督や三池崇史監督をはじめ多数の監督とのコラボが多く、各分野での撮影を経験している撮影監督田中一成教授が、写真などで現場の様子を解説し、実際にプロのカメラや照明機材に触れながら、プロの映画撮影現場について実地を交えて解説します。

講師プロフィール：撮影監督。横浜放送映画専門学院（現日本映画大学）卒業後、フリーの撮影助手として映画、テレビの撮影に携わる。94年度文化庁芸術家在外研修員として米国、オーストラリアで研修を積む。主な担当作品は橋本一監督他「探偵はBarにいる」「探偵はBarにいる スキノ大交差点」「探偵はBarにいる3」、三池崇史監督「Dead or Alive 2 逃亡者」「Dead or Alive Final」「極道恐怖大劇場 牛頭GOZU」「ゼブラーマン」「ゼブラーマン ゼブラシティの逆襲」、宮藤官九郎監督「少年メリケンサック」「中学生円山」、松本人志「R-100」、若松孝二「スクラップストーリー、ある愛の物語」「キスより簡単2 漂流編」、「仮面ライダー The First」「仮面ライダー The Next」等がある。日本映画撮影監督協会専務理事。

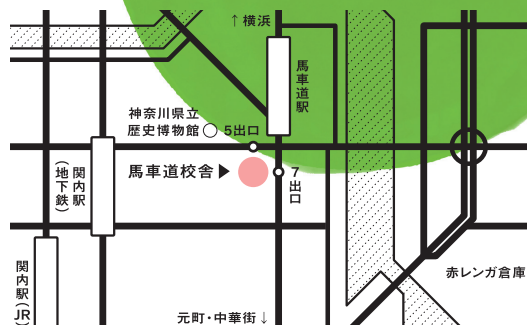
- 定員：50名（先着順）
 - 対象：神奈川県内に在住・在学している中学生
 - お申し込み方法：事前申し込み制。右記サイトよりお申し込みください。
- ※お申し込み状況により対象を拡大する場合があります。
その場合はお申し込みページにてご案内します。



<https://fm.geidai.ac.jp/2574/>

会場

東京藝術大学 横浜キャンパス
馬車道校舎3F 大視聴覚室（横浜市中区本町4-44）
みなとみらい線「馬車道」駅 5番・7番出口すぐ



お問い合わせ

イベント内容等について

東京藝術大学大学院映像研究科（担当：田村・久保田）
Tel: 050-5525-2671 Email: shomu.fm@ml.geidai.ac.jp

第1回・第3回の参加申込み等について

合同会社TRIPOD（担当：本田）
Tel: 090-2758-5897 Email: geidai.st2019@tripod.co.jp
※土・日・祝日に頂いたものについては翌営業日以降の回答となる場合がございますので、予めご了承ください。

第2回 指定校のみ（一般の受付は行っておりません）

世界のショート アニメーションと出会う

講師 伊藤有壱 いとう ゆういち
東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻教授



描かれた絵や人形が、生きてるように動く「アニメーション」。アートとして作られた世界のショートアニメーション作品（作品名は当日公表）を鑑賞した後、作品のテーマや技術などを、資料と実演を交えながら解説します。

講師プロフィール：アニメーションディレクター。被写体に主に粘土を使った「クレイアニメーション」や、CG・デジタル技術を融合したアニメーション映像を手がける。NHK Eテレ「ニャッキ！」をはじめ、多くのテレビCM、番組、ミュージックビデオに参加。文化庁メディア芸術祭アニメーション部門審査員、広島国際アニメーションフェスティバル国際選考委員等務める。日本アニメーション協会理事。

- 対象：小学生（指定小学校）

第3回 2020年3月22日[日] 14:00-16:00

「理」があって面白い 映像シアター

講師 佐藤雅彦 さとう まさひこ
東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻教授



映像は感性で作るものと思われがちですが、頼るのは感性ばかりではありません。例えば、認知科学という学問があります。人が外界を理解する時に、我々の内でどういう仕組みで行なっているかを研究する分野です。その仕組みを知ると新しい映像が作れるのです。この講義では教育テレビ番組「ピタゴラスイッチ」「考えるカラス」を作ってきた佐藤雅彦教授ならではの驚くべき映像手法が披露されます。

講師プロフィール：NHK・Eテレ「ピタゴラスイッチ」「0655」「考えるカラス」などのユニークな教育番組や「だんご3兄弟」などの歌の制作のほか、「ボリンキー」「パズールでござーる」などのCMも制作。2011年芸術選奨、2013年紫綬褒章、2014年・2018年カンヌ国際映画祭短編部門正式招待。専門は、教育方法と表現方法。「どうしたら、それが伝わるか」をテーマに、映像・アニメーション・歌・グラフィックデザインにおける新しい表現手法を開発。脳科学の知見を基とした表現の研究など、分野を超えた活動を行っている。

- 定員：90名（先着順）
 - 対象：神奈川県内に在住・在学している高校生
 - お申し込み方法：事前申し込み制。右記サイトよりお申し込みください。
- ※お申し込み状況により対象を拡大する場合があります。
その場合はお申し込みページにてご案内します。



<https://fm.geidai.ac.jp/2574/>